

WE しもやま LOVE



まちづくり実践者の集い「わくわく事業交流会」を実施しました！

7月13日（土）、下山交流館にて、「わくわく事業交流会」を開催しました。

わくわく事業団体をはじめとした、まちづくり活動実践者の交流を目的に実施された交流会には、23名の方が参加しました。

始めに、令和5年度の活動団体の実績発表と、令和6年度の進捗発表を計6団体が行いました。各団体の発表者は、活動の実績だけでなく、活動をするうえでの課題や、他団体に共有したいノウハウ等についても報告しました。

その後は、団体・住民同士の交流の時間が設けられ、「活動を現地で見たい」「私たちが整備した拠点で活動しませんか」といった、新たな出会いや交流が生まれていました。

わくわく事業は「地域課題の解決」や「地域の活性化」に取り組む団体を支援する制度です。下山地域を良くしたいと活動している団体を皆で応援しましょう。



▲発表団体の発表の様子
「しもやまみんなの学び舎＊たんぼぼ」



▲発表団体「八沢の丘公園整備委員会」に
質問する他団体の様子



今年度も「しもやまプレミアム商品券」を販売します

昨年度もご好評いただき、完売した「しもやまプレミアム商品券」を今年も販売します！詳細は以下のとおりです。商品券販売店や使用可能店舗は各戸配布されるチラシをご覧ください。

販売期間：令和6年9月2日（月）から…4,000冊販売（無くなり次第終了）

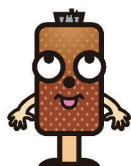
冊数：おひとり様 5冊まで

【お問い合わせ】

下山商工会（豊田市大沼町越田和37-1）

電話：0565-90-2602

受付時間：9：00～17：00（土・日・祝休）



10,000円分で13,000円分のお買い物が楽しめます！



▲しもやまプレミアム商品券

まちの突撃！？隣のしもやまファンVol.5 「ソリス・クリスティンさん」

このコーナーは、地域記者まちの連載コラムです。下山に移住・定住された方たちを紹介するとともに、移住・定住者が感じている下山の魅力を発信して、住民の皆さまに下山地区の魅力を再発見してもらうことを目指しています。第5回は、大沼町に移住されたソリス・クリスティンさん取材しました。

【ソリス・クリスティンさんのプロフィール】

ソリスさんは、フィリピン生まれの37歳。家族は4人で、夫のレイジャンさんは35歳、長女のブリアちゃんは6歳、長男のミコくんは3歳です。

ソリスさんの母親は、日本に長い間住んでいたことがあり、幼い頃から日本の住み心地の良さを聞いて育ちました。日本に住むことがソリスさんの昔からの夢で、実際に移住をするため、在留資格である介護福祉士の資格を本国で取得しました。2011年に日本に移住し、豊田市街地の高齢者施設で介護福祉の仕事をしていた時に、日本で出会ったレイジャンさんと結婚しました。その後、2人の子どもに恵まれ、2023年8月に下山の大沼町に引っ越してきました。



▲クリスティンさんご一家（右から2番目がソリスさん）

【しもやまに移住したきっかけ】

街中のアパートに住んでいるときに2人目を出産し、周囲に気を遣うことなく、のびのびと田舎で子どもを遊ばせてあげたいと思うようになりました。そんな折、たまたま見た大沼町の空き家の情報を見て、田舎なのに公共施設などが近く、利便性が高いという理由で下山に移住を決めました。



▲ダンス好きなクリスティンさん夫妻

【趣味について】

ダンスと歌が趣味。TikTok（ティクトック）でチーム「ソリス」というダンスチームで活動中。旦那さんとの動画もたくさんあり、とても仲が良い♡ 下山のいろいろなイベントに呼んでくださいとのこと。

【ソリスさんからしもやまの好きなところをひとこと！】

空気が美味しく、子どもの健康を考えると環境的にとても良い場所だと感じました。何と言っても、こども園の先生たちがとても優しい。今では私のお母さんのような存在でいてくれて、いろいろなことを相談しています。これからも、子どもたちと一緒に楽しく、のんびりと下山で暮らしていきたいです。

取材・記事：川合真裕(まちや)：平成4年生まれ。小・中・高校と卓球に明け暮れる毎日。羽布建設の家業を継ぐため現在奮闘中。下山を盛り上げたいという想いを持った同級生5人組「Village Fan's Co.」代表。今年4月から、里楽暮住（りらくす）しもやま会の委員に就任しました。





下山地区自治区紹介（自治区リレー 阿蔵） Vol. 2

下山地区は7つの自治区に分かれています。各自治区の魅力を発信していきます。第2回目は、阿蔵自治区を紹介します。

阿蔵自治区…下山地区の北東部に位置し、阿蔵町・高野町・梨野町・宇連野町の4町で構成されており（65世帯、令和6年7月時点）、3つの組から成っています。

今回は、阿蔵自治区長菅田悟さんにお話を伺いました。

Q.阿蔵自治区はどのようなところ？

下山の北東部に位置しており、標高が570mから700mに位置し、年間通して降雨量も多く、阿蔵地域雨量観測所（アメダス）があります。冬は非常に寒く、積雪も下山地区では群を抜いています。（その分夏は過ごしやすいですが…）



阿蔵自治区には、下山地区の他の自治区にはない阿蔵の念仏踊り（8月）や須賀神社大祭の三番叟（さんばそう）（10月）といった文化・伝統も継承されており、人口が急激に減少する中でも、これらの活動を通じて、大人から子どもまで幅広い年代が接することにより、地域への愛着やより強い住民同士の繋がりを阿蔵自治区では大切にしています。



阿蔵の念仏踊り



阿蔵須賀神社大祭の三番叟

Q.阿蔵自治区プランはどのようなプラン？何してるの？

阿蔵自治区プランでは、3つの取組を進めています。①4つの組を合併する（阿蔵・宇連野・高野・梨野を1つの組にする）、②住民の繋がりを強化する、③関係人口・移住者を増やすです。その中でも①の組の合併を重点的に進めています。まず令和5年4月に阿蔵組と高野組が合併しました。これにより高齢化と人口減少による組の役員の担い手問題を解消していきます。今後も組の合併を重ねつつ、役員、神社や祭礼、共有財産の今後の在り方についても検討し、より良い形で次の世代に引き継いでいきます。

自治区から一言！

阿蔵自治区はこの2、3年で急激に人口減少が目立ってきました。75歳以上の人口割合が3分の1と多く、しばらくはこの状態が続くと思われます。今は組の合併を進めていますが、近い将来は自治区の合併も考えていかなければならないと思います。より強い住民同士の繋がりを大切にしていきたいです。

連載コラム「せっつが行く！ Vol.15」

下山中学校とトヨタ工業学園の交流から得たもの



「報告します 総員23名 事故者なし 現在員23名 番号 始め イチ ニ サン シ・・・」下山中学校（以下、下中）の体育館に響き渡る声、きびきびとした動作、どれをとっても気持ちよく感じます。見方によっては、軍隊的で時代にそぐわないという声もありますが、トヨタ工業学園の訓練生（以下、学園訓練生）は、良き社会人としての礼儀やお互いを律するための基盤づくりとして、朝礼で行っています。今年の地域貢献活動では、より地域に根差した活動にしたいと、受入団体との交流に重点を置いています。



▲学園生活の説明に聞き入る下中生

この日は、下中1年生が、どこにも負けないくらい元気な挨拶ができるようになりたいという思いから、下中発案で朝礼体験交流会を行いました。学園訓練生は、朝礼のやり方の見本を示したあと、下中生とマンツーマンになり、礼や休めなどの基本動作や声の出し方などを丁寧に教えていました。その後、下中生は10分間の全体練習後、成果を披露。20分前とは比べものにならないくらいの動作と挨拶ができるようになり、学園訓練生からは「素晴らしい！」と合格点をもらっていました。下中生からは「元気に笑顔で挨拶します！」学園訓練生からは「教えることの難しさを学んだ」と双方が学びを得た交流会でした。



▲礼の練習の様子 背筋を伸ばし30度



完全予約制のマイナンバーカード出張申請窓口を開設します

下山支所で、顔写真の撮影を兼ねたマイナンバーカードの申請、健康保険証利用登録のお手伝いをします。

■日時 10月9日（水）、11月19日（火） いずれも9：30～12：00、13：00～15：00

■対象 マイナンバーカードの申請：豊田市に住民登録をしている方

健康保険証利用登録：既にマイナンバーカードを持っていて、利用登録をしていない方

■予約方法 【**8月19日（月）**から予約開始】

①右の二次元バーコードを読み取り、インターネットから予約

②マイナンバーカードコールセンターへ電話（**0570-083-130**）



■予約締切 **各開設日の2日前**（締切日が土日祝日の場合は直前の平日）定員に達し次第、締め切り

■持ち物 予約の際に必要な持ち物について確認の上、当日忘れずにお持ちください。

■その他 ・健康保険証利用登録の方限定で、公金受取口座の登録サポートも行います。
（希望の方は、ご自身名義の通帳またはキャッシュカードをお持ちください。）

・15歳未満の方は、法定代理人の同伴が必要です。

・**下山支所では、予約の受付、手続きの問い合わせはできません。**

【問合せ】市民課 マイナンバーカードコールセンター ☎ 0570-083-130

平日8：30～17：15、休日（開設日はホームページで確認ください。）9：00～17：00



第3回目は、愛車（ラリーカー）についてお話を伺います。

Q：ミンミンさんの愛車はなんという車両ですか？

A：今年から『TOYOTA 86』に乗っています。名前はシロちゃんって言います！

Q：可愛い名前ですね。こだわりのポイントはありますか？

A：シロちゃんはラリーカーだけど、実はノーマル仕様になっているところが多く、足回り（サスペンション）は純正になっています。今年は、スピードは出

ないけど車両の動きが手に伝わりやすいノーマル仕様で車の特徴を知り、慣れたら機敏なハンドル操作に反応する固いサスペンションに変更します。

Q：他にはどんな装備が付いていますか？

A：装備のこだわりは6点式シートベルトです！ラリー競技中のみの使用ですが、色は可愛いピンクと黒にしました。他にもこんな装備がありますよ。

【消火器】車両火災や森林火災を防ぐために積載

【ロールバー】車が横転した際に屋根やドアがつぶれるのを防ぎ、乗員を保護することを目的としたパイプのフレーム

【OK・SOSボード】緊急時に後続車等へ車両トラブルを伝えるボード



▲6点式シートベルト



▲必須装備の牽引フック

【今回の学び】

今回は魅力あふれる愛車紹介でしたが、取材を通じてミンミンさんのラリーカーへの愛情を強く感じました。本来、ラリーカーは10万kmを目安に車両交換を迎えるようですが、今年から相棒となったミンミンさんの愛車は16万kmを超えても現役で、とても大切にされていることが伺えました。車が変わったことでハンドルが重くなり、今は体幹や腕を鍛えるトレーニングをしているそうです。

下山地区データ

人口
3,965 人
(-80)

男性
1,972 人
(-37)

女性
1,993 人
(-43)

(7月1日現在)
※（）は前年同月比
世帯数
1,643 世帯
(2)

発行情報

編集・発行

お問い合わせ

豊田市役所下山支所（〒444-3242 愛知県豊田市大沼町越田和37-1）
毎月15日発行
TEL 0565-90-2111 FAX 0565-90-3344
MAIL shimoyama-shisho@city.toyota.aichi.jp

地域記者を募集中！あなたの伝えたい地域情報を掲載しませんか！





【 社協下山支所だより 】

まどいの丘



住所：豊田市神殿町中切7番地2

TEL:0565-90-4005 / FAX:0565-90-2419 / MAIL:shimoyama@toyota-shakyo.jp

身体も心も元気で暮らそう



健康・福祉

今年もやりますオレンジガーデニングプロジェクト

オレンジガーデニングプロジェクトとは、
「認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで
創っていこう！」という思いを共有し、楽しみなが
ら花を育て、認知症の啓発カラーであるオレンジ色
の花を全国各地で咲かせるプロジェクトです。



昨年の様子です♪



とてもきれいな
花が咲きました♪



今年も昨年同様、オレンジ色の種を募集します。また、オレンジ色の花が咲
き、種がとれましたら、ご連絡ください♪

子どもみんなで育てよう



子育て

デイサービスの活動の紹介

まどいのじ〜ば〜♡



出生届を豊田市役所下山支所へ提出した方に、
「まどいのじ〜ば〜♡活動」で製作した
鈴入りボールをプレゼントしています！

今年度より実施している新たな取り組みです！
多くの方にご縁があることを願いながら、愛を
こめて作っています。



下山交流館だより

連絡先

TEL:0565-91-1650

FAX:0565-91-1030



開館:午前9時～午後9時 休館日:月曜日(祝日、振替休日を除く) H P:<http://ph-toyota.jp/guide/shimoyama/>

講座報告



スマホ体験教室

7月3日(水)
参加人数 15名

ソフトバンクから講師を迎え、スマホの基本操作からインターネット検索、LINEの楽しい使い方、スマホ決済まで、体験機を使いながら学びました。講師の説明に参加者は熱心に耳を傾けていました。



スマイル☆キッズ② ～パパと遊ぼう～

7月13日(土)
参加親子 7組



男性保育師連盟パパレンジャーを講師に迎え、憩の家の広～いホールでパパと一緒に走り回ったり、大きなバレーンをみんなで膨らませて思いっきり遊びました。

後半はパパ同士の交流会もあり、子どもとともに笑顔あふれる講座となりました。

講座案内

テストコース見学会 (11/16(土) 開催予定)

先着順

時間: ①13時～14時 ②15時30分～16時30分

場所: トヨタテクニカルセンター下山

対象: 下山地区住民

定員: 480名(各組240名)

申込み: 9月28日(土)10時～ 交流館窓口

※申込多数が予想されますので、**窓口のみ**の受付とさせていただきます。(電話・FAX不可)

※8月配布予定のチラシ兼応募用紙をご記入の上、交流館に提出ください。
(応募用紙は交流館にもあります。)

※今年の申込みは、先着順になりますのでご注意ください。

※詳細はチラシをご覧ください。



▲ 昨年度の様子

お知らせ

ちょつとだけ おおきなおへやであそぼう!

11 会議室
10:00～14:00
涼し～い おへやであそぼ～♪

8/22(木) 同日開催!



視聴覚室
9:30～11:30
どなたでも
お気軽にお立ち
寄りください♪

9月のロビー展示

木彫オブジェ

悠遊

お詫び

9月、11月に予定していた未就園児親子講座「スマイル☆キッズ」は中止いたします。



昔はこうしていぬいた

お盆行事

絵と文 あさひひろこ

羽布の山奥根山で少年時代を過ごしたじいちゃんが昔の盆はていぬいたと話をしてくれた。

今は八月十三、十四、十五とやるが昔は旧暦の七月十三、十四、十五とやったぞ。

お盆はご先祖様と一緒に過ごす日。十三日はご先祖様の喜ぶ食事を用意してなつち家の門にお迎えの灯を立ててお迎えしてお盆の三日間を過ごす。ご先祖様と一緒に食べて過ごすんだよ。

十四日の晩はご先祖様に今年の田のぼの出来を見てもらうので田へ見回り灯を立てるとご先祖様が見て回る。十五日の晩はご先祖様を送る晩 お墓の所々に松のぼり火を灯した送り方灯で送る。

十六日の朝 供え物などをつまみもの菓でくみみチガヤのこもでくみみ川や池に流す精霊流しをやる。

子どもは川へ泳ぎに行くと十六日の朝に宮前橋の間の開橋橋が流したうりやももがくもも回って流す。

子どもの盆は子どもがよいいしたもい。

盆軍の末えいといゆる家では今も方灯を灯しますが見回し方灯までやる家は見かけなくなりました。



(13日夕方)
お迎えの灯

(14日晩)
見回り方灯

(15日晩)
送り方灯

(16日朝)
精霊流し

方灯の形
は約3m
竹に松の芯を
刺した新をばる